

「伝統文化×現代技術」特殊印刷技術による 「触り心地」のあるデザイン折り紙「SAWARIGAMI」を開発 応援購入サービス「Makuake」で本日先行販売開始

【募集期間】2022年7月28日～10月2日／応援購入サービス「Makuake」にて募集

総合企画印刷事業の株式会社新晃社（本社：東京都北区、取締役社長：森下晃一）は、応援購入サービス「Makuake」にて「伝統文化×現代技術」の特殊印刷技術による「触り心地」のあるデザイン折り紙の開発資金の募集を開始したことを本日発表します。当社は、2021年度東京ビジネスデザインアワードにて最優秀賞を受賞したビジネスモデルから特殊印刷加工技術を研究・開発・発信するブランド「印刷加工実験室」を2022年7月に立ち上げました。その第一弾商品としてデザイン折り紙「SAWARIGAMI」（さわりがみ）を開発しました。募集期間は本日16時から同年10月2日で、募集金額は150,000円を目指します。

URL：<https://www.makuake.com/project/sawarigami/>（※URLは、7/28の16時よりアクセス可能になります。）



「SAWARIGAMI」は、独自の特殊印刷技術「さわりがみ加工」によって紙の表面にざらざらとした凹凸を生みだした「触り心地」のある折り紙です。さりげなく浮かび上がる模様と上品な質感は、通常の折り紙としての楽しみ方はもちろん、ギフトラッピングやテーブル飾りにも最適です。心がこもった贈り物やおもてなしをセンス良く演出できます。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社 新晃社 広報担当徳重 TEL：03-3800-2881 MAIL：press@shinkohsha.co.jp

「印刷加工実験室」立ち上げの背景と概要

プロジェクトの始まりは、東京都主催の「東京ビジネスデザインアワード」応募したことがきっかけでした。応募理由は、「自社の強みである特殊印刷加工技術を活用した独自商品を作りたい、世の中にもっと広めたい。そして何よりも、何か面白いことをする、挑戦する会社でありたい」という思いからでした。東京ビジネスデザインアワードで当社の特殊印刷加工技術とデザイナー 歌代悟氏のアイデアの出会いから、「印刷加工実験室」を立ち上げ、「SAWARIGAMI」の開発に至りました。

今回のプロジェクトでは、支援者が「SAWARIGAMI」を購入することで、商品開発にかかる費用提供や、開発・制作作業を通じて支援いただきたいと思います。

【「SAWARIGAMI」先行販売概要】

ブランド名	印刷加工実験室
プロジェクト名	15種類の和柄模様で、おもてなしを彩る。見て、触って、楽しむ、デザイン折り紙。
実施期間	2022年7月28日（木）16時～10月2日（日）
受付窓口	応援購入サービス「Makuake」 https://www.makuake.com/project/sawarigami/
目標金額	150,000円
返礼品	SAWARIGAMI -さわりがみ- 3種セット
その他	・本プロジェクトはオールイン型です。目標金額の達成に関わらず、プロジェクト終了日の2022年10月2日までに支払いを完了した時点で、応援購入が成立します。

■東京ビジネスデザインアワードとは

東京都内のものづくり中小企業と優れた課題解決力・提案力を併せ持つデザイナーとが協働することを目的とした、企業参加型のデザイン・事業提案コンペティションで、今年で9回目を迎えます。中小企業の持つ技術や素材は、コンペティションの「テーマ」として選出され、それらの新規用途開発を軸としたビジネス全体の「提案」をデザイナーから幅広く募り、優れた事業提案の実現化を目指します。

<http://www.tokyo-design.ne.jp/>

株式会社 新晃社について

当社は、東京都北区にある特殊印刷加工を得意とする印刷会社です。普段は、パンフレットやパッケージ、クリアファイルを主に制作しています。1978年に創業、1985年に法人組織とし、名称を株式会社新晃社とし印刷工場を開始しました。パッケージなどのデザイン、印刷データの作成から印刷、後加工、発送までを社内一貫のワンストップサービスで行っています。

最近では、環境に配慮した印刷にも積極的に取り組み、顧客へ提案しています。

【会社概要】

- ・社名 : 株式会社 新晃社 URL : <https://www.shinkohsha.co.jp/>
- ・設立 : 1985年10月1日
- ・所在地 : 東京都北区東田端 1-7-3 田端フクダビル 4F
- ・代表者 : 取締役社長 森下晃一
- ・資本金 : 1,100万円
- ・社員数 : 67人
- ・事業内容 : 総合企画印刷業

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社 新晃社 広報担当徳重 TEL : 03-3800-2881 MAIL : press@shinkohsha.co.jp

「SAWARIGAMI」とは

「SAWARIGAMI」とは、独自の特殊印刷技術「さわりがみ加工」によって紙の表面にざらざらとした凹凸を生みだした「触り心地」のある折り紙です。

透明な特殊ニスを使用しているため、ぱっと見は真っ白な折り紙に見えますが、光の加減で上品な和柄模様が浮かび上がります。

色や模様といった視覚的な変化を楽しむ従来の折り紙に対して、触り心地という触覚要素が加わった、新感覚の折り紙です。



■「SAWARIGAMI」の特長

1. 触り心地が異なる全 15 種類の和柄が、選ぶ行為、折る行為を楽しむ
2. 純白な折り紙に、光の加減で和柄模様がさりげなく浮かぶ上品なデザイン。
3. 伝統×現代技術が生み出した新感覚の折り紙は、海外の人や年配の人、子どもへのギフトにも最適

■使用例



玩具や贈り物の折り紙として



お正月飾りやテーブルディスプレイとして



旅館や飲食店、ホームパーティーのおもてなしとして



アート作品や創作活動の素材として

「SAWARIGAMI」は折り紙という日本の伝統文化と伝統的な和柄に、特殊印刷加工技術を掛け合わせた新旧融合の「メイドインジャパン」商品です。家族全員で楽しめる玩具としてはもちろん、海外の人や年齢の人など、あらゆる国籍・年齢・性別の人々へのギフトとしても喜ばれると期待しています。

独自の特殊印刷加工技術「さわりがみ加工」

「SAWARIGAMI」は2種類の特殊なニスを使用した独自の印刷加工技術「さわりがみ加工」(意匠登録第1718183号/1718184号)によって作られています。従来、紙にエンボス加工を施すには高額な金型が必要でした。また、エンボス加工を施すと紙の裏面が凹んだり、紙の種類によっては縮みやシワが発生してしまいます。この「さわりがみ加工」はそのようなデメリットを解決した全く新しいエンボス技術といえます。



ブランド「印刷加工実験室」について

「印刷加工実験室」という名称には、試行錯誤しながら、頭の中で考える前に手を動かしてみる、とにかくやってみる、という子どものような探究心の大切さを込めています。今回の Makuake での挑戦も実験の一つです。Makuake で得られた反応や賛同者からご意見を、今後の「印刷加工実験室」に反映し、世の中にもっともっと面白い印刷加工技術と商品を発信していきます。



「SAWARIGAMI」商品ラインナップ

「SAWARIGAMI」のラインナップは全3パッケージです。パッケージ1種につき5柄×各7枚=計35枚が入っており、それぞれの柄ごとに異なる見た目と触り心地を楽しめます。

① 魔除けや厄除けへの想いが込められた柄で構成した「SEI -清-」



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社 新晃社 広報担当徳重 TEL : 03-3800-2881 MAIL : press@shinkohsha.co.jp

② 長寿や繁栄への想いが込められた柄で構成した「JU -寿-」



③ 永く続く幸せや平和への想いが込められた柄で構成した「EI -永-」



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社 新晃社 広報担当徳重 TEL : 03-3800-2881 MAIL : press@shinkohsha.co.jp